

## JICA 草の根技術協力事業パートナー型 日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト

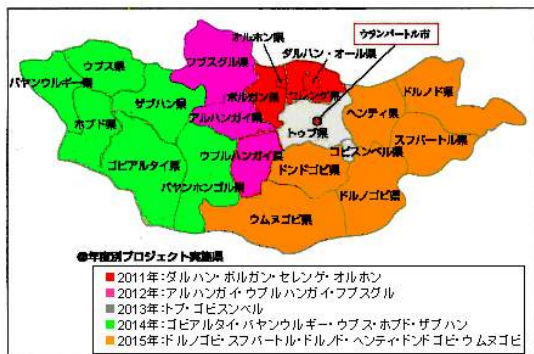
日本柔道整復師会は、柔道整復術の普及を目的にモンゴル国において2006年から10年間活動を行ってまいりました。2011年9月からはJICA（国際協力機構）の業務委託契約事業である、草の根技術協力事業パートナー型として、2016年8月までの5年間活動しました。そこで今回はJICAからの終了時評価を踏まえ活動概要を報告いたします。

（終了時評価表は下記にアクセスいただくとご覧になれます。）

<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjDoc045.nsf/VW02040104/991EBD29E96382814925804900131F56/>



遊牧生活を送るモンゴルの人々は落馬などによる骨折・脱臼などのケガが多いです。国土面積は日本の4倍もあるため、距離的理由からすぐに病院へ通えないことや、医療インフラが十分に整っていないことなどで後遺症を患ってしまうことが少なくありません。



- ・ 地方医療従事者への柔道整復術講習会  
モンゴル全土を5ブロックに分けて開催し、ケガの後の後遺症で悩む人々を一人でも少なくすることを目的として、現地で入手可能な材料を用いて骨折や脱臼などのケガの手当てを実技中心で講義を行いました。



- ・ 地方講習会での実技試験  
講習会の最終日には筆記試験と実技試験を行い、80点を合格とし不合格者は合格するまで追試験を実施して知識の定着を図りました。このほかに、地方医療従事者の再受講生を対象としたスキル・アップ講習会も開催しました。



- ・医療大学生への講義

モンゴル国立医療科学大学附属看護大学において年間 70 時間を外傷学カリキュラムとして実施しました。

2011 年 9 月～2013 年 3 月までバグ医師クラスを対象に、2013 年 9 月～2016 年 3 月までは伝統的准医師クラスを対象に講義を行いました。



- ・一般市民への公開セミナー

柔道整復術の紹介と外傷治療の重要性を伝えることを目的として、ウランバートルと地方で開催しました。

実技を交えながら、ケガの応急処置を一般の方にもわかりやすく説明しました。



- ・柔道整復術テキスト・ハンドブック

モンゴル語の柔道整復術テキストブック・ハンドブックを作成し、モンゴル全土の医療機関・医療従事者に配布しました。



- ・モンゴル人柔道整復術指導者（前列 5 名）

本プロジェクトでは「モンゴルでの柔道整復術普及がモンゴル人のみにより可能となる状態になる」を目標として掲げており、モンゴル人指導者の育成を行ってきました。



- ・日本研修

モンゴル人指導者はモンゴルと日本で臨床実習などの経験を積んできました。日本では接骨院や整骨院、病院などの医療機関で研修を行いました。モンゴルでは教員として大学に勤務する指導者、病院などの医療機関に勤務する指導者がおります。